

一人一人が生き生きと活動する
明るく楽しい学校



かいどい



学校だより令和5年度

令和5年12月22日

<http://schit.net/tama/eskaidori>

多摩市立貝取小学校
校長 鈴木 純一郎

2学期終業式を終えて冬休みを迎えます

学期末の貝取小学校は、寒い日でも元気よく校庭で遊ぶ子供たちの声が響いています。

休み時間が終わると、「二重跳びが5回できたよ!」「交差跳びとあや跳びができるようになった!!」とうれしそうに報告する子供たちが何人も話しかけてきます。全校での縄跳び旬間の取り組みは、室内にこもりがちな冬場の体力向上対策の成果を得る時間となっています。



5年生は12月8日に貝取小学校を代表して多摩市小学校音楽発表会に出演し、気持ちのこもった歌声と演奏を披露しました。前日の音楽集会では本番と同じ合唱と合奏を発表し、体育館に集まった児童は、感動と激励の拍手を送りました。特に、低中学年の中には「あの曲を私たちが歌いたい♪」「同じ曲を演奏したい♪」と言って、憧れの気持ちを抱いた子供もいました。数日後に1年生の音楽の授業を参観すると、表情豊かに口を大きく開けて一生懸命歌う姿がたくさん見られました。みんなの前に出て自信をもって歌う子供が何人もいました。3年生は5年生にお願いをして音楽の合同授業を実現させ、互いに発表曲の合唱を披露し合ったり、二学年が一緒に歌ったりしてそれぞれのよさを伝え合いました。発表の舞台は、日々の授業の延長線上にあります。上級生が立派に手本を示すことで下級生の目標となり、上級生一人一人の学校生活へのやる気の向上にもつながっていきます。

ある民間企業がインターネット上で日本の小・中学生、高校生約1,200人に「今年一年を漢字で表すと？」と尋ねたところ、1位に選ばれたのは「楽」だったそうです。その理由の一つに挙げられたのは「コロナが少し収まっていろんな行事が本格的にできたから」です。戻りつつある学校生活を「楽しい」と感じた子供たちが多かったようだ…と同社は分析しています。

本日、2学期終業式を迎えました。保護者の皆さまのご協力と地域の方々のご支援により、貝取小学校の子供たちは、今学期も安心して学校生活を楽しく過ごすことができました。学校と家庭、地域とが連携し合い、子供たちの不安や心配ごとが解消されてこそ、真の楽しさが感じられると思います。3学期も引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

年末年始に事故や事件などに遭わないよう、健康で楽しい冬休みをお過ごしください。皆さま、よいお年をお迎えください。

